

身近なテーマで、人権問題について考えるコーナーです。

北朝鮮による日本人拉致問題とは

1970年頃から80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在、17名が政府によって拉致被害者として認定されています。平成14年9月に北朝鮮は日本人拉致を認め、同年10月に5人の被害者が帰国しましたが、他の被害者については、未だ北朝鮮から納得のいく説明はありません。拉致問題に関する北朝鮮側の主張には多くの問題点があることから、日本政府としてはこうした主張を受け入れることはできません。

拉致問題は、我が国の国家主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、この問題の解決なくして日朝の国交正常化はあり得ません。日本政府は、すべての拉致被害者の一日も早い帰国を実現すべく、政府の総力を挙げて最大限の努力を尽くします。
(内閣官房 拉致問題対策本部「北朝鮮による拉致問題とは」参照)

映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映会を開催します

大阪市では、北朝鮮当局による日本人拉致問題解決のためには、拉致問題に対する国民の関心を一層喚起し、世論を高めていくことが重要との観点から、拉致問題啓発映画である「めぐみー引き裂かれた家族の30年」の上映会を政府と共同で開催します。

映画「めぐみ」とは、昭和52年、当時、わずか13歳、中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により

拉致された事件を中心に、拉致問題の経緯や被害者ご家族の救出活動などを描いたドキュメンタリー映画です。



©Safari media LLC2006



日時
平成26年
9月27日(土)
午後1時30分～
午後4時
(開場は午後1時)

内容

- 主催者あいさつ等
- 映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映
- アニメ「めぐみ」上映
- その他拉致問題関係のパネル展示

会場
リパティホール
(大阪人権博物館)
大阪市浪速区浪速西3-6-36 JR環状線「芦原橋」駅下車南へ約600m

定員 250名(無料 当日先着順) **参加料** 無料

主催 政府拉致問題対策本部、大阪市
共催 公益財団法人 大阪人権博物館
問い合わせ先 大阪市 市民局 ダイバーシティ推進室 人権企画課
TEL:06-6208-7612 FAX:06-6202-7073



おおさか歴史探訪 83

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

旧真田山陸軍墓地 一わが国最初の陸軍墓地一

大阪城の南、天王寺区玉造本町に、落ち着いたたたずまいをみせる旧真田山陸軍墓地があります。明治4年に兵隊埋葬墓地として設けられたもので、全国におかれた陸軍墓地で最初のもので。明治6年の徴兵令発布よりも早い時期から大阪に集められ、訓練中に亡くなった新兵(墓碑には「生兵」と記されています)の墓をはじめ、西南戦争やその後の日清・日露戦争、第1次大戦などにおける戦病死者の墓碑が約5,300基あります。当時の陸軍の規定にあるように、平時の病死、事故死者も埋葬されています。西南戦争の頃、コレラにより大阪で亡くなった兵士の墓や、敵として戦い、捕虜となって死亡した中国人やドイツ人の墓も含まれています。軍の仕事を担当していた民間人の墓も多くあります。墓碑の配置は軍隊の階級ごとに区画されており、同一規格の個人墓が整然と建ち並ぶ独特の墓地空間が形成されています。

墓碑に彫り込まれた文字などにより、当時の軍や、軍に関係した国民の姿などが見えてきます。わが国の近代史にとって重要な意味をもつものであることから、研究機関による学術調査もおこなわれています。

全国に多数あった軍の墓地も戦後十分な管理がなされずに原形を留めるものは少ないといわれていますが、この旧真田山陸軍墓地は地域住民の方々等の奉仕活動により、かつての状況をよく窺うことができます。
(大阪市教育委員会 文化財保護担当)



旧真田山陸軍墓地